

平成 22 年度 横浜市つたのは学園運営計画

社会福祉法人偕恵園が、指定管理者として、運営を横浜市より引継ぎ 1 年が経過し、平成 21 年度は、あえて横浜市直営の運営を踏襲し、利用者、ご家族に安心していただくことを心がけた。

同時に、新たな運営システムを作り上げることを優先し、課題を先送りしてしまった面も多々あるため、平成 22 年度は、民間らしい運営を主体的に展開していくことが課題とし、利用者、家族の皆様へ、より良いサービス、より良い支援を提供したい。また、先送りした課題を整理すると同時に、それらの課題について一つ一つ、取り組みを始める年度としたい。利用者と家族が、横浜市つたのは学園を利用して良かったと思える施設作りの第一歩の年としていくことと、市立施設として障害をお持ちの方の相談機能をもつこと、長津田地区センターとともに、市民利用施設として地域活動の核としての働きかけが今年度の大きな運営の柱としたい。

1. 具体的な取り組みと重点目標

- ① 市立生活介護事業所の指定管理施設の目的の具現化
- ② 短期・中期・長期の課題整理とその取り組み方法の明確化
- ③ マニュアルの整備と有効活用
- ④ 地域ニーズの発掘と地域との連携強化
- ⑤ 研修による専門性の向上

2. 管理面について

- ① 定員を満たすことが急務のため、生活介護事業所としての施設の役割を明確にすると同時に、各特別支援学校、福祉保健センターなどへの空き状況の周知を行う。
- ② 指定管理制度を利用した生活介護事業所として相談機能、市民利用施設としての役割等、独自の運営や支援を展開する。
- ③ 23 年度に実施を希望する「自立支援基盤整備事業」へ向けて、市と連携し、建物の改修工事、新しい機能整備などを検討し、利用者の日中活動の充実を図る。
- ④ 嘱託医と連携し、常勤看護師による計画的な医療行事の遂行と専門的な医療対応やリハビリテーションの支援を行う。
- ⑤ 給食業務は委託ではあるが、安全で楽しい給食の提供体制を保つため、法人内の栄養士との連携を綿密に行う。
- ⑥ 家族よりの要望の高いサービス(送迎、日中一時支援)について、そのあり方と展開方法の検討を行う。
- ⑦ 班会議、主任会議、支援会議、職員会議などの各種会議の定期的な開催により、利用者の見方、対応などの共通化を図る。また、行事など話し合いを行い利用者の日中活動の活性化を図る。
 - ・ 班別会議－利用者が直接活動する場である班の運営に関する事項、班を利用している利用者の活動や日々の状況を検討し、毎日の班活動が各利用者に充実したものになるように調整を行う。
 - ・ 主任会議－横浜市つたのは学園の支援を行う上では核となる会議ととらえ
 - ・ 支援員会議－より良い支援をするために、各利用者の午前・午後の活動場面での状況を把握し、一人ひとりの支援内容や方法を全支援員で確認検討する。行事实施方法の検討及び終了後のまとめ、関係機関との連絡内容及び研修等の報告など支援実施上の連絡調整をする。
 - ・ 職員会議－全職員で、行事の日程・役割調整や予算執行など学園運営の検討及び連絡調整を行い利用者の日中活動の活性化を図る。

3. 支援について

- ① 利用者一人ひとりの希望や状況に合わせた適切な支援を提供するために、職員はケアマネジメント手法による個々の個別支援計画を作成し、この計画に基づいて利用者の支援を行う。
 - ・ 「個別支援計画」は、年度当初に作成をし、必要に応じて見直しと修正を行う。
 - ・ 「個別支援計画」作成については、利用者本人(または家族)への聞き取りを元に、その希望を尊重

し、本人(または家族)の同意を得て作成・修正する。

・ 年度終了時にモニタリングを行い、「個別支援計画」における支援状況のあり方を検討する。

- ② 職員は利用者が社会の一員として快適な生活を送るために、居住地域や個人的な活動範囲も視野に入れて必要な支援を行なう。
- ③ 各日中活動班の主任を中心とした運営を進め、班単位の利用者に沿った目的の中で支援の独自性と活性化を図る。
- ④ 第一、第三水曜日の午後を中心に、日中活動の中に少しずつ目的をもった活動を取り入れ、楽しいだけでなく、利用者各自が自らの力を発揮し活動を展開できるようにする。
- ⑤ Y ネット(横浜ふくしネットワーク)オンブズマンの協力を得て利用者の声なき声を拾い上げ、支援に生かす。

4. 家族会、家族について

- ① 日常的な連絡、相談、家族との個別面談、家族会などを通して利用者の全体的な生活の充実を図る。
- ② 利用者がよりよい地域生活が送れるよう事業所とは違う立場で支援していただくよう家族会の強化をお願いしていく。

5. 地域について

- ① 10月に地域交流事業としての「つたのは学園祭り」を、長津田地区センター祭り、長津田小学校と合同で開催。
- ② 利用者の日中活動を安定させるため、生活介護事業所としての役割とともに地域の相談機関としての役割をもち、関係機関や関連団体、地域資源との連絡調整を行う
- ③ 地区センターとの定期協議を通し、一体的な市民利用施設を目指す。

6. その他

- ① 外部職員研修、内部研修を積極的利用し、職員の専門性向上を図る。
- ② 福祉専門職関連資格(社会福祉士・介護福祉士等)取得推進。
- ③ 現在は発行されていない広報紙を発行し、地域や関連団体に横浜市つたのは学園の理解を深める。